

「生物多様性ネットゲインのための流域網羅的な魚類・昆虫多様性評価」

研究代表者：山口大学大学院創成科学研究科・赤松良久

地球環境は急速に変化しており、生態系への影響が日増しに顕著になっています。特に、陸水生態系は人間の活動や気候変動の影響を受けやすく、その多様性と健全性が脅かされています。そこで、本研究では種網羅的に在・不在と密度を把握することが可能な環境DNA定量メタバーコーディング法を用いて、流域スケールで網羅的に生物の生息状況を把握するとともに、環境要因や上下流の生物生息状況との関係から魚類や昆虫の多様性を予測する革新的モデルを開発します。さらに、このモデルを活用して山口県内の主要二級河川における魚類や昆虫の多様性を網羅的に予測し、予測モデルと調査結果の比較により、生物多様性の低下が顕著である河川区間を明らかにします。

